

JRA 函館競馬場 新スタンド



所在地：北海道函館市駒場町12-2
 延床面積：25,642㎡
 構造・規模：鉄骨造、地上5階建
 設計：株式会社東畑建築事務所、JRAファシリティーズ（株）
 施工：大成建設株式会社札幌支店
 電気：株式会社みん北海道支社
 オープン：平成22年6月

S38

夏の北海道競馬の前半戦が開催されるJRA函館競馬場。スタンドの改築工事が竣工し、競馬ファンを魅了する様々な施設の充実とともに、省エネ・省メンテの明るい照明空間が実現されています。

競馬ファンを魅了する「馬と人との距離が近い」競馬場

JRA函館競馬場は、約40年の経過で老朽化したスタンドの改築をはじめ、構内ファンエリアや入場門、パドックなどを大幅にリニューアルし、平成22年6月19日にグランドオープンしました。

「リゾート地の開放感あふれる競馬場」を基本理念とし、スタンド上部庇は真っ白な天蓋を広げたデザイン、観覧席周りは芝生やデッキを採用して牧歌的な雰囲気を演出しています。また、馬と人が気軽に触れあうパドックの開設や遊具などを揃えたキッズコーナーを設けたりして、「馬と人との距離が近い」競馬場となっています。

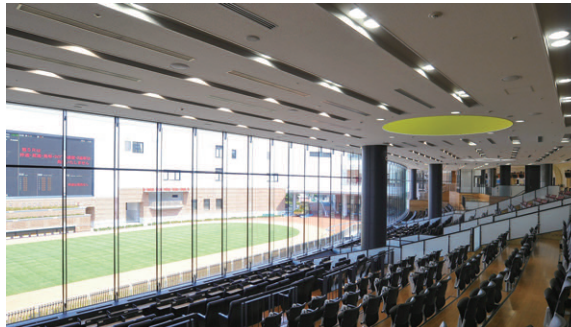
北の大地を連想させる内装デザインと調和した暖色系のあかりを採用

1階から2階上がったところにある広い吹抜けの「雲の広場」は、天井が広い波のような雲をイメージした開放感あふれる空間となっています。照明は、木目調の壁の上部に設けた145Wセラミックメタルハイドランプ（ネオセラ）丸型小形投光器を2台配列にして均等に配置し、下向き照射でムダなく明るく床面を照らしています。壁面中部には145Wネオセラ角型小形投光器を均等配置し、天井面及び対面の上部壁を照射。北の大地を連想させるイキイキとした照明環境が作り出されています。JRAで初となる屋内のパドック観客席は、ガラス越しにレースが観戦できる大型映像装置も設置しています。観客席の照明は、天井をスリットラインにした内部にFHT57W3灯用ダウンライトを設置し、ガラス側より3列目までは100Wネオセラ電動昇降装置付ダウンライトを採用。パドックと大型映像装置を見やすい光環境にしつつ、省エネ、省メンテが図られています。

投票所の照明は、等間隔に設けられている天井スリット内にFHT42W2灯用ダウンライトを設置し、スリットの外側にも同器具を意匠的に並べて配置。ラインの色合いをつけた床面と調和しながら明るい空間が形成されています。また、それぞれの投票窓口及び各自動発売窓口の下り天井面には、手元を明るくするLEDダウンライト300シリーズを配置し、柔らかな光を落とすつつ、消費電力を抑制しています。



「雲の広場」の照明 壁面上部と壁面中部に設置した145Wネオセラ小形投光器により開放感あふれた明るい空間を演出



屋内のパドック観客席の照明 ガラス手前には100Wネオセラ電動昇降装置付ダウンライトを、そのほかはFHT57W3灯用ダウンライトを配置



インフォメーション周辺の蛍光灯ダウンライト照明



キッズコーナーの蛍光灯ダウンライト照明



FHT42W2灯用ダウンライトによる投票所の照明 自動発売・払戻兼用窓口上部にはLEDダウンライトを設置



コースから新スタンドの夜景を望む

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
屋内	埋込器具開放形	FHR-42800-PH9	580	32WHf蛍光ランプ×2
	埋込器具バツフル付	FHR-42858K-PR9	102	32WHf蛍光ランプ×4
	ダウンライト	FHD-42002-PM9	194	42WHf蛍光ランプ×2
		FHD-41014-PM9	266	42WHf蛍光ランプ
	ダウンライト(電動昇降装置付)	FHD-53001-PN8	439	57WHf蛍光ランプ×3
	LEDダウンライト	DDU-10101-200	85	100Wセラミックメタルハイドランプ
		LEDD-44001NW-LS1	203	LED 消費電力:4.5W
		LEDD-70001NW-LS8	208	LED 消費電力:13.1W
	投光器	HT-14544WF[K]-PM(改)	71	145Wセラミックメタルハイドランプ
		HT-14542WF[K]-PM(改)	31	